

伝えよう読書のよろこび 広げよう感動の輪



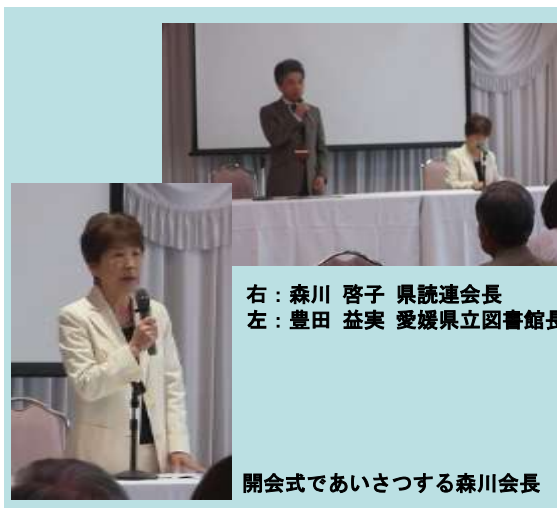
編集・発行 愛媛県読書グループ連絡協議会

令和6年度 愛媛県読書グループ連絡協議会 創立60年記念 総会並びに読書推進大会

「令和6年度愛媛県読書グループ連絡協議会創立60年記念総会並びに読書推進大会」が、5月31日(金)に松山市道後姫塚のにぎたつ会館で開催されました。今年度は創立60年記念の総会・大会で、県内各地から読書グループ関係者、読書教育関係者、読書愛好家等、92名が集まりました。

森川会長を議長として、令和5年度の事業報告と決算報告、6年度の事業計画と予算について事務局から説明し、すべて承認されました。

また、今年度は2年に1度の役員改選の年に当たり、大洲市の上田理事が退任され、新理事に大洲市立図書館長の竹本氏を迎えることになりました。新たな体制でスタートとなりますので、今後ともよろしくお願いたします。



右：森川 啓子 県読連会長
左：豊田 益実 愛媛県立図書館長

開会式であいさつする森川会長

「県読連60年の歩み」スライド発表

昭和60年、読書推進運動協議会より「野間読書推進賞」を受賞



愛媛県読書グループ連絡協議会
県読連60年の歩み



令和6年度読書推進大会の様子

総会の最後には、「県読連60年の歩み」と題して、写真を使ったスライドショーを映しながら、県読連発足までの歩みや60年間の主な出来事等、これまでの歴史を振り返りました。スライドには、県読連結成を報じる昭和39年12月13日の愛媛新聞の紙面や、著名な作家や文化人の方を招いた時の講演会の写真等もありました。

大会では、ピクチャーブックライブラリーからの事例発表と俳人の坪内稔典氏の講演会を行いました。

総会、大会ともに、会長を始めとする役員の皆様、関係各所の皆様のご協力により、円滑な進行となりましたことに、感謝申し上げます。

読書推進大会講演会 「本とタルト」 講師：坪内 稔典 氏(俳人)

愛媛県伊方町出身の俳人、坪内稔典氏に、ご自身の少年時代からの本との関わりについて、お話いただきました。少年時代に出会った先生の影響で言葉に強い関心を持つようになったこと、最初の本となる「カバヤ文庫」の思い出、紙の本と電子書籍との付き合い方や、雑談会のような読書会「ことばカフェ」について等、内容は多岐にわたりました。

坪内氏の俳句「三月の甘納豆のうふふふふ」のようにユーモアあふれるお話で、会場からは時折笑いがもれていました。

最後は、坪内氏の好きな詩「心よ」を参加者全員で朗読して締めくくられました。講演後、会場はあたたかい拍手に包まれました。



読書推進大会事例発表

「蔵の図書館から暮らしに文化を」
 ピクチャーブックライブラリーくらら
 代表 川瀬 久美子 氏
 2019年に松山市の三津浜地区で明治時代の蔵を改装して私設図書館を開設した経緯について、写真を映しながら発表していただきました。

絵本や写真集、漫画等、絵の多い本が蔵書の中心という特色ある図書館で、本祭りや上映会等のイベントも行われています。

研究協議では、運営方法等について質問がありました。地域に根付いた図書館の形として、大変参考になる発表でした。



☐事務局からのお知らせ☐

1.「県読連60年記念誌」を発行します！

創立60年を記念して、記念冊子を発行いたします。内容は、大会記念講演要旨、県読連の歩み(平成26年度～令和6年度)等で、発行は令和7年3月を予定しております。どうぞお楽しみに。

2. 令和7年度、県読連は全国図書館大会愛媛大会に参加します！

令和7年10月30日(木)と31日(金)の2日間、愛媛県では初めての開催となる全国図書館大会に、県読連がパネル展示で参加することになりました。詳細につきましては、追って情報をお知らせいたします。

「読書をするると健康寿命がのびる」

愛媛県読書グループ連絡協議会 会長 森川 啓子

一人でも多くの方々と読書の喜びを分かち合いたいと「伝えよう読書のよろこび、広げよう感動の輪」のテーマを掲げ、読書推進活動を続けてきた県読連が、今年60周年を迎えることができました。ひとえに、先輩会員の皆様、県立図書館の皆様のおかげと、深謝いたしております。

60年の歴史を前に、澆刺と県読連に集う方々を思い浮かべ、以前「NHKスペシャル」で聞いた、読書に関する興味深い話を思い出しました。

それは、『運動や食事よりも、読書をする事で健康寿命がのびる』との画期的な提言で、読書会の強力な後押しになる話でした。

歳を重ねるとともに出かける機会が少なくなっはきたけれど、図書館に集い楽しく輪読する時間は何にもかえがたく、読友の考えを聞いて共感したり、著者と対話しつつ自分が思ったことを聞いてもらったりしているうちに、さまざまな興味が湧いてきて気持ちが華やぎます。

読書会も県読連も高齢化による会員数の減少など課題はありますが、みんなで健康寿命をのばし、人と人のつながりを大切にしながら、今後も伝統ある歴史を積み重ねてまいりたいと願っています。

「視野を広げる本との出会い」 愛媛県読書グループ連絡協議会 顧問 愛媛県立図書館長 豊田 益実

書籍や新聞などの活字媒体を以前に比べて読まなくなる、読む分量が少なくなる、といった傾向を「活字離れ」と呼びます。近年、紙媒体の活字離れは着実に進行していますが、一方でモバイル端末などのデジタルメディアの普及によって、過去に例のないほど膨大な文字情報を消費しているという実態があり、文字を読む行為(広義の読書)自体は増加しています。

「本や新聞も含めて、情報収集はインターネットで十分だ。」という意見もありますが、私は情報の内容の偏りを心配しています。インターネットによる情報検索では、検索者の嗜好に合わせて情報が提供されます。本人にとって興味のないものや否定的な意見を持つ情報は提供されなくなり、いずれは趣味・嗜好に合うものだけを読むこととなります。その結果、視野の狭い偏った思考に陥る危険性があるのです。

現代は多様性を重視する社会です。読書会等で講演を聞き、多様な価値観を持つ人と意見交換をすることで読書の視野が広がります。そして、今まで気づかなかった様々な分野の本との出会いを楽しんでください。

～「県読連」のご案内～

名称:愛媛県読書グループ連絡協議会 略称 県読連(けんどくれん)

発足:1964年(昭和39年)12月。今年で設立60年。

目的:県内読書グループ相互の提携を図り、読書活動を推進するとともに、文化の発展に資すること。

会員:169名(令和5年度末)

県内読書グループに所属する方や読書愛好家の方(会員募集中)

活動:スローガンは「伝えよう読書のよろこび、広げよう感動の輪」。読書推進大会の開催、読書通信を発行。

問合せ:県読連事務局(愛媛県立図書館内)

〒790-0007 松山市堀之内 TEL 089-941-1441 FAX 089-941-1454

https://lib.ehimetosyokan.jp/about/page_id174